立教大學新聞

発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座東京70852
電話(97)3121—9
内線 137
編集兼日刊発行人
野口定男
(毎月廿日発行)

日本火災海上

東京・日本橋

委員長・顧問不信任さる

表面化した内部紛争

京都学園復興会議　責任問題でもたつく

賛成39　反対12

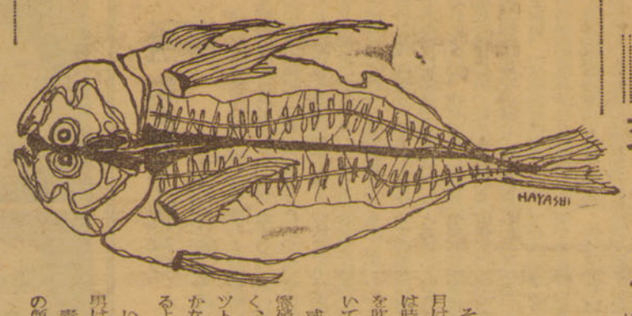
本年度最終の級委員定期総会が二十日午後時半から三十六番教室で開催され、学園復興会議で負傷した長谷川君も出席し、学園復興会議及びその後の代表団及び委員長の取った行動を取り上げられ、慎重に討議した結果、白鳥委員から（一）デモに参加した事（二）事前に委員長からの学生会予算弁のあと、白鳥委員より代表団いきさつを感じた故であり、又十一日のデモ参加は常神橋の上で、かくも非人道的警官隊に対して代表団を派遣して厳重抗議したのに、〃引力がある故に橋から落ちるのは当然であるとうそぶいたのに学生は憤激しないのに何故実力的行動であるのか」とデモの責任を追及した。これに対して「会議会場みて参加したのは当然であると考へている」。ここに於て白鳥委員から委員長長谷川君の負傷が十各自の行くべき道もほぼ決定したものと思われる。一月二十三日現在人事課に集まった報告によれば就職希望者の五割弱が決定した。しかし部別になると経済学部が圧倒的で文学部、理学部は僅少という現状である。しかしこの他に消ゆる運動関係による就職、自家業従事者などの未報告の者も多数居るので更に決定者数は増加する見込。以下其の後の決定者数の通り

【銀行・保険】武蔵野銀行1、山一証券1、日産証券1、日興証券1、【官庁】静岡商事1、黒沢商店1、【商業】静岡商事1、日光商事1、小商事1、【運輸】朝日土地1、水郷観光1、【運輸】日通1、【鉄金属】山洋製鋼1、東芝1、丸正自動車2、松下1、九州1、小学館1、伊勢丹1、東京自動車輸1、日立造船1、明電舎1、【繊維】三愛石油1、【化学】日本新聞1、ラジオ新潟1、【不動産】中興商会1、大映1、松竹

文化

窓硝子

笠井　剛



その男の住んでいる部屋の、窓硝子に写る月は、いつもてこぼこにゆがんで見えた。男は時々窓に近ついて、一枚一枚のガラスに息を吹きかけ、曇った窓硝子に、丸や三角を描いてみるのだった。

或る夕方、外には細い雨が煙り、その男の窓硝子を全部曇らしていた。男はてこしばらく、一銭の金も持たなかったけれど、暖いベットにいて曇った窓硝子を見ていると、安らかな幻影が部屋を満たし、珈琲屋に坐っているように楽しかった。

いつか雨は晴れて、夜になったのだけれど男はまだぼんやりと甘い幻影に浸っていた。青い月が、てこぼこに写る泣いたような男の顔を、窓硝子の外から覗き込んでいた。

文学者と立教大学

何故文学者が生まれないか

平山城兒

このような表題を読んで、識者、という事である。私達素現在文壇の中には、眼に角を立ててお怒りになる方もいらっしゃるかも知れない。立教の出身者の中にも、何人かの文学者がいることを、お前は知らないのかと。それは勿論熟知の上で、私はその方々に御容赦を願いながらも、この稿を進めて行かなければならないのが、残念で、無念で堪らない。

冷静になってその原因を考えてみると、一つは伝統の問題に突き当たり、もう一つは、学校及び生徒の問題に直面する。伝統の問題というのは、この学校には文学者の伝統が、(極言すれば)ない、という事である。私達素現在文壇の中には、眼に角を立ててお怒りになる方もいらっしゃるかも知れない。立教の出身者の中にも、何人かの文学者がいることを、お前は知らないのかと。それは勿論熟知の上で、私はその方々に御容赦を願いながらも、この稿を進めて行かなければならないのが、残念で、無念で堪らない。

冷静になってその原因を考えてみると、一つは伝統の問題に突き当たり、もう一つは、学校及び生徒の問題に直面する。伝統の問題というのは、この学校には文学者の伝統が、(極言すれば)ない、んていて、その門を叩いて敷へを批評界をぐるっと見回してみて、一人でも川端康成や丹羽文雄や佐藤春夫が立教出身者から出ているであろうか。諸者諸君はもう一度冷い水で顔を洗い直し、眼を皿のようにして探してみるがいい。立教の出身者には、小説家・批評家は一人としていないのである。これは由々しき大問題であり、これが立教から文学者が育たない第一の原因である。早い話が、早稲田へ進入った学生は、丹羽文雄を引き合いに出すまでにもなく、数え切れない程の文学者が文壇に並べる基礎訓練の一手段としてやらしているとマネージャーはおっしゃるとやる。

◇現在部員四十数名中過半数が一年生で占められている、それだけに若さと知的なチームであると言う、反面もろい所があり、しばしば今一歩で優勝を逃しているが、これは立大運動部共通の問題でもある。

◇名手、鈴木・高林がこの三月去ることはいささか来シーズンの興味を半減させる次、それだけ気の合った、うちとけた部として活躍するだろうというのは各新聞スポーツ欄のまとめ。(樺)

サークルめぐり

サッカー部

悩みの種はグランド

あいにくシーズンオフでこのチームの練習を記者は見る事は出来なかったのだが、正月に行われた全日本大学サッカー戦で坐ある全国制覇を成し遂げたのであるからその実力は充分

◇現在部室の無い事とグランドが浦和というのが悩みの種となっている。しかし、近かく上板橋にグランドが新設される様な事を聞いているので、これが実現された暁はいずれの面に於ても非常なプラスとなる事であろう。練習は一日平均三時間、勿論、球の見えなくなるまで続くのはいずれの部も同じシンズンオフには希望者を募りスケートをやるが、これは膝と足腰を強くする基礎訓練の一手段としてやらしているとマネージャーはおっしゃるとやる。

◇現在部員四十数名中過半数が一年生で占められている、それだけに若さと知的なチームであると言う、反面もろい所があり、しばしば今一歩で優勝を逃しているが、これは立大運動部共通の問題でもある。

◇名手、鈴木・高林がこの三月去ることはいささか来シーズンの興味を半減させる次、それだけ気の合った、うちとけた部として活躍するだろうというのは各新聞スポーツ欄のまとめ。(樺)

優勝は二の次に

野球部　小島訓一

昨秋、にがい経験を味わった者々には今春こそはと気負わせ、緊張裡に練習が繰ひられている、昨年Aクラスの上位を確保、早慶の天下を碧々の手に帰した以上、彼等がわれわれをめざすのは当然で、そこに昨年に倍してその冷静と慎重さと敵を呑む自信を持つことが第一條件として要請される。幸いわが部は他校に比し卒業生も少く、その点神宮の主を踏んだものの面で特にあてはまることだと思う。また本格的練習に入らず、われわれの持つ力さえ打診できない現状だが、リーグ戦に入る迄に充分力を備え、全力を盡して戦い得る精神力を養うことを唯一の目標とし、その方向に部員を導く様な雰囲気を早晩、昨年来を見れば、案外本心かも知れぬ。

論潮に「過ちを改むるに憚るなかれ」というのがあるが、日本を非武装させ、平和憲法を与えたことが、果して誤りであるか、否かは人類愛の立場から考えれば明瞭である。ただ問題はすべてアメリカが自己本位に物を見る場合、こういった論もとびがす。

文部官僚と日教組との「教育の中立性」にからむ対立にしても、平和憲法を基底にと

昨年、自立経済論と統打つて、産業合理化とコスト切下げ、東南アジア市場開拓、国内自給度の向上と輸入負担の軽減等を披露した吉田内閣は本年早々閣議で経済九九五億八千万円の二九年度予算大綱を正式定決し休会明け国会の一月二六日提出することにした。

自立経済構想なるものが、あくまで特需依存という基本線の上に立つたものであった故、朝鮮休戦はこの構想の色彩を大いに変えてしまい、経済援助を脅うあまりに結局は軍事援助であったMSA援助にとびついたのであった。その時には特需はすでに日本経済の眼管の中にまで滲みこんでいて正常貿易を阻害する要価の割高を促進していたのである。

国際収支における対アジア貿易は戦前にその地域の五割を掌握していたにもかかわらずイギリスを始め西欧諸国の横槍、アメリカの資本輸出をともなう市場進出等で現在では一割にも満たない。一方これに反し対米貿易は完全な入超で日本の貿易総額の六割を占めている。

このような国際収支の悪化を是正するためまず対内政策として予算削減と金融の引締めを行い物価の引下げをしようという

のが政府の考えのようである。

先づMSA協定調印を目前に控えての防衛費について眺めると二八年度予算が総予算の一六・七%であったのが二九年度では二二・八%で六・一%増えている。これに反して民生費は二八年度の予算が総予算の八三・二%であったのが二九年度では七七・二%と六・一%減っている。鋼的に軍事予算である事を明らかにしているのである。だがアメリカの要求する軍備には地域の五割を掌握していたにもかかわらずイギリスを始め西欧諸国の横槍、アメリカの資本輸出をともなう市場進出等で現在では一割にも満たない。一方これに反し対米貿易は完全な入超で日本の貿易総額の六割を占めている。

このような国際収支の悪化を是正するためまず対内政策として予算削減と金融の引締めを行い物価の引下げをしようという

のが政府の考えのようである。

先づMSA協定調印を目前に控えての防衛費について眺めると二八年度予算が総予算の一六・七%であったのが二九年度では二二・八%で六・一%増えている。これに反して民生費は二八年度の予算が総予算の八三・二%であったのが二九年度では七七・二%と六・一%減っている。鋼的に軍事予算である事を明らかにしているのである。だ

対外政策の政治貧困予算

二反田実

資商をみても総額二八〇五億円で二八年度の三三八九億円に比し五八四億円の大幅縮少となり各産業部門は産業合理化を殆ど棚上げされ、中小企業が苦境に立ち、起債市場は圧迫され、結果的には大企業への資本、生産の集中は避けられず、中小企業脱落の傾向は一層促進される事になろう。所謂過剰投資固定の解決と業界再編成を狙うデフレ政策であれば、その成否は政治力の如何で決まるわけである。特に農林水産業に及ぼす影響は下ッジライン下の実例をみても、その停滞と危機の深刻化する可能性は充分にある。

又、それ等に伴い、例えば輸入食糧補給金の減額は米食事の低下を強要し、食糧増産対策費の需要増大を導き食糧事情の大混乱を招くかも知れない。

更には社会保障関係費や公共事業費等が失業問題とまるで無関係に減額されている事、政府

と地方との関連において交付金の運用が円滑になされる事が前提とされている事等の点も不安な処である。

このような緊縮予算に伴って金融界においても従来のインフレ政策を一変にデフレ政策へと転換するわけであるが、物価に敏いてみれば振興の今くそろった政策をとるのか、金融面が財政面の無理を調整してゆくのか

今年と僕

優勝は二の次に

野球部　小島訓一

昨秋、にがい経験を味わった者々には今春こそはと気負わせ、緊張裡に練習が繰ひられている、昨年Aクラスの上位を確保、早慶の天下を碧々の手に帰した以上、彼等がわれわれをめざすのは当然で、そこに昨年に倍してその冷静と慎重さと敵を呑む自信を持つことが第一條件として要請される。幸いわが部は他校に比し卒業生も少く、その点神宮の主を踏んだものの面で特にあてはまることだと思う。また本格的練習に入らず、われわれの持つ力さえ打診できない現状だが、リーグ戦に入る迄に充分力を備え、全力を盡して戦い得る精神力を養うことを唯一の目標とし、その方向に部員を導く様な雰囲気を早晩、昨年来を見れば、案外本心かも知れぬ。

論潮に「過ちを改むるに憚るなかれ」というのがあるが、日本を非武装させ、平和憲法を与えたことが、果して誤りであるか、否かは人類愛の立場から考えれば明瞭である。ただ問題はすべてアメリカが自己本位に物を見る場合、こういった論もとびがす。

文部官僚と日教組との「教育の中立性」にからむ対立にしても、平和憲法を基底にと

勝手な話し

昨年末を見れば、案外本心かも知れぬ。

論潮に「過ちを改むるに憚るなかれ」というのがあるが、日本を非武装させ、平和憲法を与えたことが、果して誤りであるか、否かは人類愛の立場から考えれば明瞭である。ただ問題はすべてアメリカが自己本位に物を見る場合、こういった論もとびがす。

文部官僚と日教組との「教育の中立性」にからむ対立にしても、平和憲法を基底にと

未外線

昨年末